

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 2 部門第 6 区分  
【発行日】令和 5 年 11 月 8 日(2023.11.8)

【公開番号】特開 2023-117269(P2023-117269A)  
【公開日】令和 5 年 8 月 23 日(2023.8.23)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-158  
【出願番号】特願 2022-19899(P2022-19899)  
【国際特許分類】

**B 6 5 B 51/22(2006.01)**

10

【F I】

B 6 5 B 51/22 1 0 0

【手続補正書】  
【提出日】令和 5 年 10 月 27 日(2023.10.27)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】請求項 1  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

20

【請求項 1】

筒状包装材の搬送路を挟んで相互に反対方向に回転するホーンとアンビルとによって、筒状包装材中に供給された物品を挟む前後で挟持して筒状包装材の搬送方向と交差する方向へ超音波振動により横シールを施す製袋充填機における横シール装置において、

前記ホーンを配設した第 1 回転軸におけるホーンの両側の軸端側で、第 1 回転軸を回転自在に支持する一対の第 1 支持部材と、

前記アンビルを配設した第 2 回転軸におけるアンビルの両側の軸端側で、第 2 回転軸を回転自在に支持する一対の第 2 支持部材と、

前記第 1 支持部材または第 2 支持部材を、他方の支持部材に対して接近・離間移動可能に支持するガイド手段と、

30

前記第 1 支持部材または第 2 支持部材の一方を付勢する付勢手段と、

前記第 1 支持部材と第 2 支持部材における筒状包装材の搬送方向の中間部で対面する斜面をスライドして前記ホーンとアンビルとの距離を調節可能な楔部材と、

該楔部材をスライドする調節機構と、を備えたことを特徴とする製袋充填機における横シール装置。

【手続補正 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 0 6  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

40

【0 0 0 6】

本願の請求項 1 に係る発明の製袋充填機における横シール装置は、

筒状包装材(10)の搬送路を挟んで相互に反対方向に回転するホーン(17)とアンビル(18)とによって、筒状包装材(10)中に供給された物品(11)を挟む前後で挟持して筒状包装材(10)の搬送方向と交差する方向へ超音波振動により横シールを施す製袋充填機における横シール装置において、

前記ホーン(17)を配設した第 1 回転軸(21)におけるホーン(17)の両側の軸端側で、第 1 回転軸(21)を回転自在に支持する一対の第 1 支持部材(22,22)と、

前記アンビル(18)を配設した第 2 回転軸(23)におけるアンビル(18)の両側の軸端側で、第 2 回転軸(23)を回転自在に支持する一対の第 2 支持部材(24,24)と、

50

前記第 1 支持部材(22)または第 2 支持部材(24)を、他方の支持部材(24,22)に対して接近・離間移動可能に支持するガイド手段(25)と、

前記第 1 支持部材(22)または第 2 支持部材(24)の一方を付勢する付勢手段(26)と、

前記第 1 支持部材(22)と第 2 支持部材(24)における筒状包装材(10)の搬送方向の中間部で対面する斜面(27a)をスライドして前記ホーン(17)とアンビル(18)との距離を調節可能な楔部材(27)と、

該楔部材(27)をスライドする調節機構(28)と、を備えたことを特徴とする。

請求項 1 に係る発明によれば、ホーンとアンビルとの回転軸における両軸端側において、ホーンとアンビルとの支持部材の相互間隔を、楔部材によって夫々独立して調節し得るので、包装材を挟持した時のホーンとアンビルとによる筒状包装材の挟持面の距離を高精度で調節することができ、横シール時に、包装材の挟持域の外側でホーンとアンビルの挟持面同士が接触して発振される超音波振動により、ホーンが破損したり超音波振動発振部が破損してしまったりするのを防止することができる。また、ホーンおよびアンビルの長手方向での筒状包装材への加圧力や両軸端における左右の加圧バランスなどを変更、調節することができるので、横シールを施す際に、包装材への加圧バランスが崩れたり、過度な圧力が加わったりして筒状包装材にエッジ切れや、ピンホールなどが生じて密封不良を招くことを防止して、良好に横シールを施すことができる。

10

20

30

40

50